

日本情報地質学会 2016年度シンポジウム
- i-Const/CIM時代の地形・地質三次元モデリング -

国土交通省は、来年度から三次元データを駆使した情報化施工と、従来推進してきた CIM (Construction Information Modeling) を統合した「i-Construction」という取り組みを本格化させることになりました。国土交通省の報道発表によると、「土工における調査・測量、設計、施工、検査のプロセスにおいて、現在の紙図面を前提とした基準類を変更し、3次元データによる15の新基準を平成28年4月より導入します。」となっています。

地質調査の場合、これらの動きに対する処置としては「地表を構成する地形、地下空間を構成する地質や物性を三次元的にモデリングすると共に、視覚的に訴える可視化技術の確立」が必須となるでしょう。

日本情報地質学会は、平成23年度に「空間モデリングによる地質情報の利活用」を、平成24年度に「地形・地質・地球物理情報の三次元モデリング」を、平成25年度に「地質情報等の三次元モデリングとCIMについて」を、更に平成27年度には「地形・地質三次元モデリングの最前線」と銘打つ企画シンポジウムを開催してきました。

本年度は、「三次元可視化技術」、「地形データ処理技術」に加え、当学会で発表されたり公開されているプログラムを改良してウェブ環境で地層のサーフェスモデルを作成できる三次元システム(ジオモデラー)に関するシンポジウム企画致しました。

是非、ご参加の上議論の場に参加頂けますようご案内致します。

主催：日本情報地質学会

共催：特定国立研究開発法人 産業技術総合研究所(予定)

一般社団法人 資源・素材学会 探査工学部門委員会(予定)

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

後援：公益社団法人 日本地質学会 情報地質部会(予定)

特定非営利活動法人 地質情報整備活用機構

日時：平成28年11月18日(金) 13:00-17:00

会場：飯田橋レインボービル 〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地

<http://www.science-forum.co.jp/img/maps/iidabasi.htm>

JR東日本・中央線飯田橋駅西口下車、徒歩約5分

予稿集：発表者が作成した配布用文書を事務局がPDFに変換し、学会ホームページに掲載します。出席される方は各自印刷して持参ください。タブレット閲覧可です。

プログラム：別紙をご参照ください

意見交換会：17:30-19:00。 飯田橋レインボービル。

参加費：・シンポジウム 1,000円

・意見交換会 3,000円(予定)

連絡先：日本情報地質学会 office@jsgi.org

参加ご希望の方は、件名に「情報地質シンポジウム2016参加申込」と明記して、お名前・所属・電話番号・e-mailアドレスを上記アドレスにお送り下さい。

日本情報地質学会 2016 年度シンポジウム
- i-Const/CIM時代の地形・地質三次元モデリング -

プログラム

平成 28 年 11 月 18 日(金) 13:00-17:00

13:00 ~ 13:10 主催者挨拶

セッションA：三次元処理・可視化技術

13:10 ~ 13:55 フリーソフトによる衛星データの三次元表示

(特国研法) 産業技術総合研究所

古宇田 亮一氏

13:55 ~ 14:30 斜面傾斜角の経度・緯度による補正法

(有)地球情報・技術研究所

井上 誠氏

14:30 ~ 15:15 Web-GLによる地形・地質情報の三次元可視化プログラムの開発

(資)キューブワークス

北尾 馨氏

15:15 ~ 15:35 休憩

セッションB：Web版ジオモデラーの開発

15:35 ~ 16:15 CIMに対応するための地盤情報共有基盤 ならびに三次元地盤データモデル標準の検討 - 建設現場の生産性向上に向けて -

(一社)全国地質調査業協会連合会

中田 文雄氏他

16:15 ~ 16:55 Web版ジオモデラーを使用したサーフェスモデルの推定(実演)

(一社)全国地質調査業協会連合会

中田 文雄氏他

16:55 ~ 17:00 主催者挨拶

意見交換会

17:30 ~ 19:00 会場：飯田橋レインボービル内，希望者